

放置された人工林を間伐し、森林の公益的機能を持続的に発揮させるための事例

事業名：環境貢献林整備事業

市町名：三次市

取組のきっかけ・経緯

・手入れがなされず放置され、緊急に整備が必要な人工林について、管内森林組合に調査を委託し、調査結果に基づき、施業地を取りまとめ、事業を行った。

今後の展開

・市民の方には、事業を把握されていない方や、また昨今、不在所有者が多くおられるため事業の取りまとめに時間を要しており、今後も市広報誌等を活用し、広く周知していき、不在所有者についても何らかの対応を行っていくこととする。

取組の内容

- ・事業主体：三次市
- ・実施場所：三次市内
- ・事業主体：三次地方森林組合
甲奴郡森林組合
- ・業務量：72.11ha
- ・業務金額：26,370千円
- ・業務期間：令和元年10月25日
～令和2年3月26日

着手前



取組後の感想

【良かった点】

・間伐を行い、森林に下層植生の回復が見込まれるようになった。

【悪かった点】

・事業が所有者に把握されておらず、取りまとめに時間を要した事業地があった。

着手後



放置された里山を整備することで豪雨災害被害を防止する事例

事業名：里山林整備事業（防災・減災型）

市町名：三次市

取組のきっかけ・経緯

・地元住民より、溪流に倒木や倒れそうな竹木があり、谷に治山ダムがあるものすでに埋まっており、豪雨時には倒木がダムを超えて下流の人家に被害を与える恐れがあるため、ひろしまの森づくり事業による事業を提案された。

今後の展開

・地元住民は、事業の内容を把握されておらず、いろいろ相談されて、本事業を紹介されたことから、市広報誌の活用や地域自治連合会を通して広く、周知していくうえで、事業を進めていきたい。

取組の内容

- ・事業主体：三次市
- ・実施場所：三次市粟屋町
- ・業務委託先：三次地方森林組合
- ・業務量：1.04ha
- ・業務金額：1,452千円
- ・業務期間：令和2年1月7日
～令和2年2月28日

着手前



取組後の感想

【良かった点】

・倒木も処理され、併せて里山の整備を行ったことから、地元住民の方から災害の不安が消え、里山も整備され、「きれいになった」との声が上がっている。

【悪かった点】

・地元が事業を認知されていなかった。今後は広く周知を行う必要がある。

着手後

